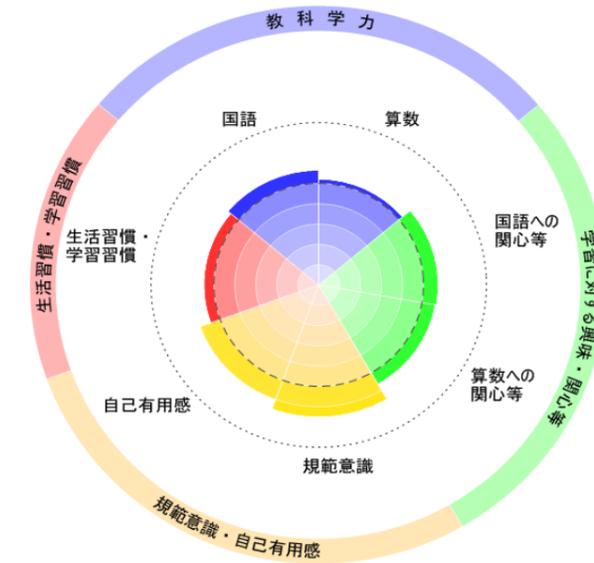


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○目的に応じて本や文章全体を概観して効果的に読むことができています。 ○身近な漢字について、文の中で正しく使うことができています。 ●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに抵抗がある。 ●使い慣れていない語句やことわざについての理解に不十分さが見られる。 ●文章を理解するのに時間がかかる。	・新聞記事を読んで感想を書く活動を継続する。 ・学習した言葉や表現方法を、日常生活で活用する場をつくる。 ・継続的な読書活動をさらに豊かにできるよう工夫する。
算数	○図形についての基礎的な理解が確かになっている。 ○棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 ●理由や性質について記述することが苦手。 ●図形について、性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することに抵抗がある。	・抽象的な概念と具体的な操作活動のつながりが見えるよう、図や模型の活用を工夫する。 ・解決の方法を記述したり、説明したりする活動を継続する。 ・グループ活動やペア学習などで自分の考えを表現する場を増やす。 ・家庭学習の質の向上が図れるようにする。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



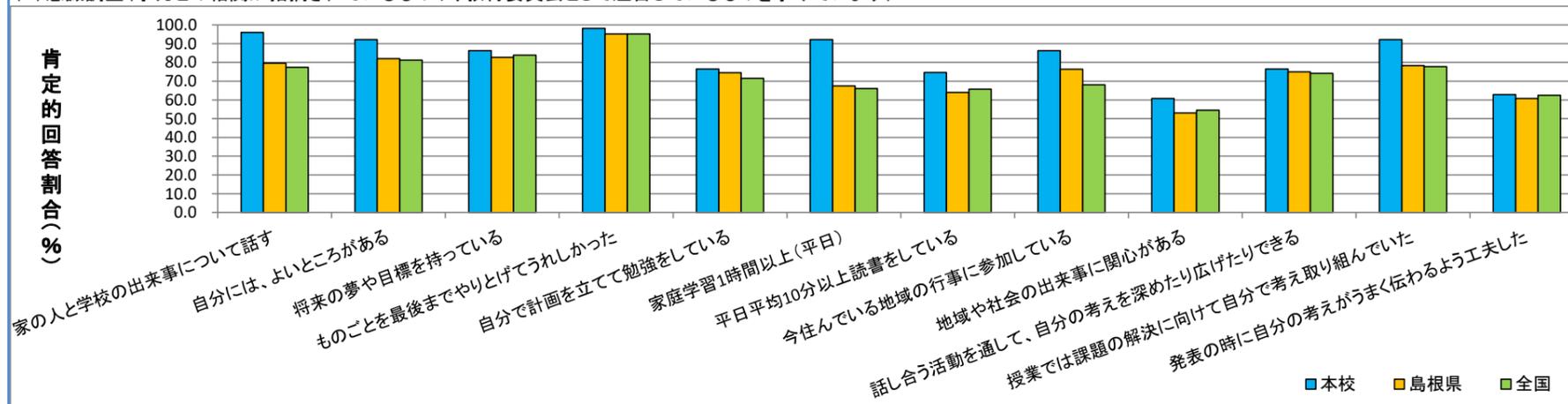
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○家庭や地域とかかわりを持ち、支えられて、自己肯定感をもっている児童が多い。 ○教科の学習の大切さを理解し、まじめに取り組んでいる。 ○家庭学習への取り組みが習慣化してきている。 ●ICTの活用や、総合的な学習での目的意識、社会や地域への関心に課題がある。	・さらに意欲的な取り組みができるよう、身近な出来事と学習との結びつきを図る。 ・家庭との連携をより豊かにし、児童の学習や活動の努力を形成的に評価する。

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法を工夫する。 ・児童、地域の実態に応じて、カリキュラムマネジメントを行えるよう工夫する。 ・10分×3回(毎週)の「基礎タイム」の時間の学習内容の充実や改善を進める。
--

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	70	63	62	63.8
算数	67	66	65	66.6

受検者数 49人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。